

農林水産省本省「消費者の部屋」**展示のご案内**

令和4年後期（7月～12月）の展示スケジュール（その1）



期間	展示名	展示内容	担当課
7月4日 ～ 7月8日	すべては食の「安全・信頼確保」のために！	FAMIC(独立行政法人 農林水産消費安全技術センター)は、科学的手法による検査・分析により食の安全と消費者の信頼確保に技術で貢献することを目的としています。今回は、その多種多様な業務について紹介します。	独立行政法人 農林水産消費安全技術センター
7月11日 ～ 7月15日		同 上	
7月19日 ～ 7月22日	選んで安心！～JASマークは信頼の証～	JASマークへの信頼感を高めるため、製品に付けられているJASマークの意義を知るとともに、JAS製品の広がりや新たに発見する展示を行います。具体的には、様々なJAS製品をご紹介しますとともに、信頼性を支えるJASのしくみや新たなJASの取組についてご紹介します。日本の農林水産物の信頼を守り続け、私たちの生活の中に深く浸透しているJASマークを改めて見つめ直します。	大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課 基準認証室
7月25日 ～ 7月29日	第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会(事前PRパネル展)～和(わ)っ！と驚く美味しさが牛(ぎゅう)っ！と詰まった和牛の魅力は鹿児島から～	令和4年10月6日から10日までの5日間開催される第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会について、多くの方々にご来場いただけるよう、当大会について紹介します。具体的には、当大会の概要や、共進会での牛の審査のポイント、イベント情報等に関するパネル展示やパンフレットの配布を行います。また、全国初の2回目開催となるため、昭和45年の第2回鹿児島大会の写真や全共の歩み等のパネルの展示も行います。	鹿児島県農政部 畜産課 全国和牛能力共進会推進室
8月1日 ～ 8月5日	カレーのヒ・ミツ	国民食、学校給食の王様と言われる「カレー」には不思議な魅力がいっぱいであり、一層身近に知ってもらえるよう、歴史、文化、健康などの視点から、皆様の健康の増進、食育の推進のための展示を行います。具体的には、①カレー製品とカレー粉を構成するスパイスの展示・説明、②カレーの歴史、種類、健康への効果、製造工程等に関するパネル展示、③カレーができるまでのDVD上映、④レシピ等の配布などを行います。	大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課
8月8日 ～ 8月12日	お米の魅力に迫る！～食べて！見て！知って！米・米粉をおいしく食べよう～	米の消費は食の多様化・少子高齢化等により年々減少していますが、我が国の大切な食料生産基盤であり、多面的機能を有する水田を維持し、国内農業を振興していくためにも、米の消費拡大に取り組むことが重要です。米飯学校給食の取組やBUZZ MAFF(ばずまふ)等とコラボした米の消費拡大の取組、米粉の普及に向けた取組についてパネルや動画を用いて紹介します。また米粉のレシピ集等を配布すると共に様々なお米製品や米粉を使用した製品を展示します。	農産局 穀物課 米麦流通加工対策室
8月15日 ～ 8月19日		この間は休館します。	
8月22日 ～ 8月26日	食べたい！伝えたい！～おかやま旬の魚～plus 晴れの国のテロワール	恵まれた天候と瀬戸内海に育まれた「おかやまの旬の魚」を中心に、地域の食文化と暮らしをご紹介します。晴れの国に「親しむ・訪れる」きっかけづくりとします。具体的には、岡山の農林水産物を取り巻く様々なトピックスを特徴的なパネルや動画、広報資料などにより、楽しく分かりやすくご紹介します。	岡山県 農林水産部 農政企画課
8月29日 ～ 9月2日	本の森へ出かけよう～森の恵みと白書の知識、山の仕事～	森林・林業・木材産業について広く興味を持っていただくため、漫画やイラストを中心としたパネルの展示、冊子の配布を行います。また、令和3年度の森林・林業白書の内容をパネルでご紹介します。	林野庁 林政部 企画課 林野図書資料館
9月5日 ～ 9月9日	クンクンの部屋～動物検疫について～	動物検疫所のマスコットキャラクタークンくんが犬猫、家畜、肉製品の輸出入検疫制度、手続きについてパネル展示や映像で紹介いたします。検疫探知犬についても紹介します！	消費・安全局 動物衛生課、 動物検疫所
9月12日 ～ 9月16日	ガムの楽しさと噛むことの大切さを考える！～チューインガムでリラックス！！噛むことの大切さを考えよう～	現在の食生活の中で噛むことの機会が少なくなってきた子供に対して、食育の観点から、ガムを通じた噛むことの大切さを伝えるとともに、ポイ捨て防止といったマナーを周知します。また、これらを通じてガムの消費促進を行います。具体的には、①会員各社のチューインガム展示、②チューインガムの機能・効用、製造工程等をパネルで紹介、③ガムのポイ捨て防止とマナー啓発のPRの展示を行います。	大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課
9月20日 ～ 9月22日	農業農村整備事業とその豊かな恵み～昔から今、そしてこれから～	古来より、かんがい施設や農地の整備が地域の発展を支えてきた歴史(過去)、土地改良がもたらした豊かな恵み(現在)、これからの土地改良と最先端技術(未来)を紹介することにより、農業農村整備事業について深く理解していただくよう展示を行います。具体的には、①農業農村整備事業の目的や歴史、現在、未来の形式でパネル展示、②VR映像によるかんがい施設や農地の探検体験等、③農業農村整備事業に関する動画の上映やジオラマ・体験模型等の展示を行います。	農村振興局 整備部 設計課
9月26日 ～ 9月30日	木材利用促進月間～木づかい運動でウッド・チェンジ！～	10月は、「木材利用促進月間」です。国産の木材を使うことは、私たちの生活に潤いを生むだけでなく、「伐って、使って、植える」というサイクルを通じて、健全な森林の維持や地球環境に貢献することにもつながります。来場者に木を使うことの素晴らしさを知っていただき、日々の暮らしに国産材製品を取り入れてもらうよう、本展示では、木の良さや木材利用の意義、withコロナ時代のおうち時間を快適にする「木づかい」等を多数ご紹介する予定です。	林野庁 林政部 木材利用課
10月3日 ～ 10月7日	べんりとおいしいのその先へ 冷凍食品	10月は「冷凍食品月間」、10月18日は「冷凍食品の日」です！日本の冷凍食品はその誕生以来、1世紀にわたって進化を続けており、いまやあらゆる食シーンで欠かさないものとなりました。今年も消費者の皆さんに向け、冷凍食品の歴史や優れた特性、家庭での保存・調理方法などについて、パネル展示やDVD等を用いてお伝えします。加えて日々進化する冷凍食品の品質やおいしさについても紹介します。	大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課
10月11日 ～ 10月14日	きのこゆかいな仲間たち～特用林産物をめぐる新たな挑戦～	10月15日は、「きのこの日」です。きのこ類をはじめ、木炭、竹、漆等の特用林産物は食料、エネルギー、家具など様々な形で私たちの生活を豊かにしている身近な森林の恵みです。特用林産物に関する理解の促進と普及による需要拡大のため、当展示では代表的な特用林産物を紹介するとともに、新たな取組についてもパネルや実物の展示等により分かりやすく解説します。 【ワークショップ「炭花壇をつくらう」開催情報】 木炭に観葉植物を植えて、お洒落な炭花壇をつくります。(先着48名、作業時間20分) 参加希望の方は10月11日12時以降にお越しいただき整理券をお取りください。	林野庁 林政部 経営課 特用林産対策室

農林水産省本省「消費者の部屋」展示のご案内

令和4年後期（7月～12月）の展示スケジュール（その2）



期間	展示名	展示内容	担当課
10月17日 ～ 10月21日	「農業」と「福祉」がつながって日本を元気に！～みんなで耕そう！ノーフク・プロジェクト～	農業と福祉が手を取り、互いの課題を解決しながら取り組む「農福連携」。全国的に様々な形で取組の輪が広がっていますが、より多くの方の農福連携の認知度向上を目指し、展示を行います。具体的には、①昨年実施した「ノーフク・アワード2021」の優秀賞受賞地域のパネル展示、②全国を取組の紹介、③ノーフクJAS取得や農福連携の取組によって生産された商品の展示、④農福連携に関する動画の放映を行います。	農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 農福連携推進室
10月24日 ～ 10月28日	さつまいも・じゃがいもの週～おいものみりよく～	さつまいも・じゃがいもは、家庭やレストランで調理する青果用だけではなく、工場でポテトチップスやポテトサラダなどに加工する加工用、焼酎の原料となるアルコール用、でん粉の原料用など様々な用途に利用され、それぞれの用途に合った多くの品種が作られています。さつまいも・じゃがいもが多く出回る秋の季節に、いもへの理解を深めていただくことにより、消費拡大が図られるよう、本展示では、まだ市場に回っていないような新しい品種やいもでん粉から作られる製品などををご紹介します。	農産局 地域作物課
10月31日 ～ 11月4日	太陽と大地の恵み 砂糖～日本の砂糖の安定供給を支える仕組み～	砂糖は私たちが生活する上で欠かすことのない食品であり、日本の食料自給率の維持にも大きく寄与しています。私たちが毎日いろいろな形で摂取しているお砂糖の安定供給を支える仕組みをパネル等でわかりやすく紹介します。また、ひと口に砂糖といっても、その形、色、風味もさまざまです。展示では、バラエティ豊富な砂糖とその特性をご紹介しますとともに、原料のさとうきびやてん菜が地域経済や雇用などを支えていることを紹介します。	農産局 地域作物課
11月7日 ～ 11月11日	お茶・畳・生糸・盆栽の世界～和の空間へようこそ～	我が国の伝統的な工芸作物の代表である、茶、いぐさ、繭、生糸、薬用作物や和の空間を象徴する盆栽等の素晴らしさを消費者にお伝えし、理解を深めてもらうことにより、消費拡大を図ります。具体的には、日本の伝統的な工芸作物である、茶・畳・生糸・薬用作物や盆栽等について、バラエティ豊富な製品やパネル等を用いて展示します。	農産局 果樹・茶グループ、園芸作物課
11月14日 ～ 11月18日	動物用医薬品ってなに？	動物のお薬である動物用医薬品は、人の医薬品と同じように様々な種類があります。今回の展示では、動物用医薬品についての理解を深めてもらうため、動物用医薬品が開発されて世の中に誕生するまでの仕組みや品質や安全性を確保するための取組について、ポスター展示や動画を用いてご紹介します。	消費・安全局 畜産安全管理課
11月21日 ～ 11月25日	世界農業遺産～制定20周年の歩み～と静岡の茶草場農法	平成14年、国連食糧農業機関（FAO）により開始された世界農業遺産（GIAHS）制度は、令和4年で20周年を迎えます。今回の展示では20年の歩みと静岡の伝統的な茶草場農法をご紹介します。具体的には、世界農業遺産の認定制度や日本国内にある13の認定地域の、多様で地域性に富む伝統的な農林水産業の展示をパネル等で行い、さらに世界農業遺産に認定されている「静岡の茶草場農法」が守り続ける「おいしいお茶作り」や「生物多様性の保全」について詳しく展示します。	農村振興局農村政策部 鳥獣対策・農村環境課、 静岡県経済産業部 農業局お茶振興課
11月28日 ～ 12月2日	バイオテクノロジーで何が できる？～持続可能で豊 かな未来へ品種改良で貢 献～	バイオテクノロジーを用いた品種改良に対する理解増進を図ることを目的に、遺伝子組換えやゲノム編集技術等に至るまでの品種改良の歴史を紹介することに加え、スマート育種や現在の品種改良に欠かせない遺伝資源の収集等の取組を紹介する展示を実施します。	農林水産技術会議事務局 研究企画課 イノベーション戦略室
12月5日 ～ 12月9日	つなぐ棚田遺産～日本の 棚田とその様々な機能～	つなぐ棚田遺産の取組を紹介することで棚田地域をPRし、農業・農村の多面的機能の理解増進を図ります。具体的には、つなぐ棚田遺産の取組や農業・農村の多面的機能に関するパネル展示、パンフレット配布、PR動画の放映を行います。	農村振興局 農村政策部 地域振興課
12月12日 ～ 12月16日	みやぎの農林水産トピック ～海岸線SDGsの取組から オリジナルいちごの生 産振興まで～	東日本大震災からの復興を遂げた沿岸地域を中心に、みやぎの農林水産に関する現在の取組をご紹介します。具体的には、震災で失われた海岸防災林を再生し、沿岸エリアの魅力発信する「みやぎグリーンコーストプロジェクト」や、藻場再生の取組である「みやぎブルーカーボンプロジェクト」、各魚市場の紹介、沿岸部を中心に各地で栽培されている県産成品種のいちご「もういっこ」、「にこにこベリー」の生産振興の取組等を動画やパネル等で紹介します。	宮城県 東京事務所
12月19日 ～ 12月23日	プリザーブドフラワーの世界 ～永遠に咲く花の秘密～	「プリザーブドフラワー」とは、ドライフラワーや造花とはまったく異なる加工花です。生花のうちに加工し、鮮やかさや風合いを長期間保ちますので、水やりの必要もなく長くお楽しみいただけます。今回の展示では、生花や造花とは異なる「プリザーブドフラワー」の作り方や保存法等についてご紹介し、国産の花きをより身近に感じてまいります。また、花ではない「ソラフラワー」との違いも併せてご紹介いたします。	農産局 園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室

※この展示スケジュールは、予告なく追加・変更されることがあります。

- (1) 入場無料です。
 - (2) 展示は、期間中の月曜日から金曜日まで行っています。ただし、祝祭日、年末年始は休館です。
 - (3) 開室時間は、10時から17時までです。ただし、展示初日は12時から17時、展示最終日は10時から13時まで。
- 詳しくは、消費者の部屋にお問い合わせください。TEL: 03-3591-6529

農林水産省本省「消費者の部屋」のご案内

「消費者の部屋」は、農林水産省が消費者の皆さまとコミュニケーションを深めるために、農林水産行政や食生活などについての情報提供を行っています。これからもよりよい消費者行政を目指して参りますので、どうぞお気軽にご利用ください。

【連絡先】

住所：〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
 電話：03-3591-6529（一般相談）
 03-5512-1115（子ども相談）
 ホームページ：http://www.maff.go.jp/heya/
 開室時間：月～金曜日の10時～17時（祝日・年末年始を除く。）
 （ただし、展示の初日は12時から、最終日は13時まで）

